令和5年 4月15日発行　　通巻119号

広報しらさぎ

Shirasagi home news letter

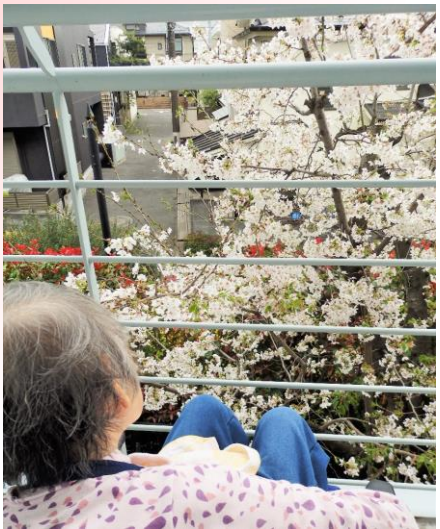
桜の季節　お花見

3月に入り急に暖かくなって、あっという間に桜が咲いたのに、見頃になったら雨が多かった今年の春。

天気のいい時間をねらって、施設のバスで桜の下をドライブをしたり、近所を散歩したり、施設のベランダから花見を楽しんだりしました。

お花見の方法は異なりましたが、春の風と満開の桜を満喫されました。たくさんの笑顔があふれていました。

足漕ぎ車いすコギーで散歩に出かけています。「訓練」というよりサイクリング気分ですね。



令和5年度　始まりました

新体制でスタートしました。
各サービスをご紹介いたします。
よろしくお願いいたします。

特養　2階・3階

2階、3階で介護サービスを
行っています。

　新たに5名の職員が入職しました。若い職員も多く、にぎやかな雰囲気となりました。ご利用者に楽しい生活をしていただけるよう考え、取り組みながら毎日を過ごしています。もちろん、ベテラン職員が目を光らせております(笑)。

　まだまだ新型コロナ感染症の対応を終了することはできませんが、活気のある日々をお過ごしいただけるよう職員一丸となって努めてまいります。

デイサービス

在宅で過ごされている方の通所サービスです。一般型、認知症型に分かれ活動を行っています。

　職員のチームワークをさらに高め、しらさぎホームの特徴を活かした活動内容を充実させていきます。
　ご利用者のニーズに柔軟な対応ができる、相談しやすい、選ばれるデイサービスを目指していきます。

ショートステイ

在宅で過ごされている方の短期滞在を1階で行っています。高齢者・障がい者のショートステイです。

　ショートステイ専用のスペースで、ゆっくりと過ごしていただいています。
　おやつ作りや喫茶の時間、足浴、散歩等、余暇活動の充実を図り、ご利用中楽しく過ごしていただけるよう、職員一同、準備をしてお待ちしています。

↑書道の時間もあります
←WBS観戦中
とても盛り上がりました。

介護保険センター

中野区の西部、中部を中心に、ケアプランのご相談に応じています。介護保険や区の福祉サービス等を利用し、一人ひとりにあった支援でご自宅で長く過ごせるようお手伝いをしています。

　経験を重ねた頼もしい職員に、さらに1名が加わり6人体制となりました。介護や、日常生活でお困りのことがありましたら、どうぞご相談ください。

しらさぎホーム　事業計画

令和5年度の取り組みについて
お知らせします。

「お任せください！あなたの介護」

認知症になっても専門性を極めた職員が、デイサービス、ショートステイで在宅生活の継続を支援します。在宅が困難となった場合は、個人の尊厳を大切にし特別養護老人ホームで受け入れます。住み慣れた地域で最後まで安心して過ごせることを目標に、地域に根差した施設運営とサービス展開により利用者を支援していきます。

特別養護老人ホーム	ショートステイ	デイサービス	介護保険センター
①有料老人ホームや老健に入所している特養待機者に対し定期的に状況確認を行うほか、居宅事業者や病院と連絡を取り、在宅で生活することが難しくなった方を積極的に受け入れます。 ②BPSD（周辺症状）の強い利用者の一定数受け入れと、認知症に対する専門性とスキルを持った職員の育成に取り組みます。	①ショート専用のフロアで専任の職員が対応します。特養から独立している特性を活かし、余暇活動や生活リハビリを提供します。 ②サービス担当者会に介護職員も参加し、ご家族やケアマネージャーと情報交換を行い、信頼関係を構築します。	①一般型では、利用者が選べる「選択型活動」と歩行機能維持のため広いフロアを活かした機能訓練を提供します。 ②一般型で軽度認知症の方を積極的に受け入れ、毎回脳活性化プログラムを実施します。また、プログラムを提供できる職員を増やします。 ③認知症型では、重度認知症型に移行するため「認知症型デイサービスのあり方」について検討します。	①申し込み・相談を受けたら直ちに支援を開始できる体制を構築します（ケアマネージャー1名増員） ②ケアマネージャーの相談力、質の向上を図るため、中野区主催の研修へ必ず参加します。また、事業所内でのカンファレンスを定期的に開催します。

ショートステイでの
活動の様子

デイサービスでの
活動の様子

特養　第三者評価の結果について

特養では「事業所のサービスの質の向上」と「ご利用者のサービス選択」「事業の透明性の確保」のための情報提供を目的とし、毎年、第三者評価を受審しています。詳細は、東京都福祉ナビゲーション「福祉サービス第三者評価」でご覧いただけます。評価機関は「一般社団法人 特養ホームマネージメント研究所」です。

とうきょう福祉ナビゲーション

特に良いと思う点

①ホームが目指すものの実現にむけて、施設全体で一丸となり取り組んでいる

事業所の理念や方針に理解を示している職員多い。利用者調査・家族の調査・総合満足度では、回答した方の約８０％から好評をいただいている。

②「モニタリング会議」を着実に実行しており、多角的・客観的な意見がケアプランに反映されている

居室担当、看護師、理学療法士、管理栄養士等が参加し、利用者の生活支援に関する課題やサービスの実施状況・妥当性等について、毎日モニタリング会議を開催していることが利用者の実情に合ったケアプランの作成につながり、利用者の日常生活の支援の質に直結していると高く評価できる。

③スライディングボード等の福祉用具を活用する事で、移乗介助時の利用者・職員の負担軽減に著しい効果が出ている。

「抱え上げない介護」の実践に力を入れ、取り組みが定着し福祉用具を安全に使いこなすことができている。その結果、移乗介助の際に顔をしかめ声を出していた利用者の表情が和らぐ、職員の腰痛予防に効果が出ているなど高く評価できる。

さらなる改善が望まれる点

①家族への情報提供についての頻度・媒体の見直しに期待する

「コロナ禍で施設の中に入れないため様子が分からない」という心配の声が多いので、現行の「しらさぎ便り」の他にも、利用者の様子の伝え方や頻度・媒体等の検討を期待する。

②家族懇談会等、家族との直接的な対話・意向の把握をする機会の検討を期待する

これまで年２回開催し、家族への直接的な説明・対話の機会となっていた家族懇談会もコロナ禍で休止となっている。今後はリモート方式での情報伝達等、家族との直接的な接点の回復について検討を期待する。

③身だしなみについて、家族からの要望が挙がっていることを踏まえ、今後の対応に期待する

コロナ禍で訪問理美容サービスを中止していため、本人、家族から理美容サービスの希望が挙がっている。感染対策を行いながら定期的に再開することを期待する。

編集後記

しらさぎホームのベランダから見る桜は、触れることができるくらい近くに咲きます。今はハナミズキが咲き始めていて、これからも季節の花が次々に見られます。春は入学や進級の時期でもありますが、ホームにも入職した職員、異動になった職員がいます。今回の広報でのご紹介はしておりませんが、今後、続々紙面に登場してくると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

記事・編集担当職員　秋元　沼田　渡辺　太田　福本　相澤　梨本

社会福祉法人　中野区福祉サービス事業団
しらさぎホーム

〒165-0035　中野区白鷺２－５１－５
℡　03-3336-6511
◇事業団ホームページ
https://www.nakano-fj.jp/
◇メールアドレス
nakano-j@nfsj.jp